

ねんしょうだより



令和7年7月18日
川口市立舟戸幼稚園
年少組

梅雨から夏にかけて、気候の変化を大きく感じる今日この頃。段々とクラスの友達を意識し、登園後にいない友達に気づいて気かけたり、朝の身支度などを自分から進んで取り組んだり、頼もしい姿が見られるようになりました。

また、水遊びを思い切り楽しんだり、造形遊びや室内で滑り台をしたりして、そばにいる友達や気の合う友達と楽しそうに遊ぶようになってきました。4月からのお子さんの成長をご家庭で十分に認めていただいたことが、子供たちの大きな喜びにつながったのではないかと思います。1学期間、保護者の皆様には温かいご理解とご協力をいただきありがとうございました。2学期もどうぞよろしくお願いたします。

外でも中でもプールあそび



晴れた日には、プールに入り、水の心地よさや開放感を味わっています。子供たちも「今日は、プールに入れる?」「やったー!プールに水が入ってる」と、毎日楽しみに登園しているようです。着替えも初めは“出来ない”とすぐに教師に助けを求めていた子供たちでしたが、回を重ねるごとに自分で脱いだり畳んだり、自分から進んでできるようになってきました。

プールに入る順序もすぐに覚えて、「こっちのプールは冷たいよ」「温泉みたいに温いね」と言い合い、「体にかけて」「かけあいっこしちゃおう」という教師の言葉を真似て水慣れをみんなで楽しみ、その後は色々な生き物になって泳いだり、遊具を使って金魚すくいやジョウロを使ってのシャワーなどで水に親しんでいます。

室内でのプールごっこでは、新聞紙をみんなでちぎってプールに見立てた段ボール箱に入れて、プールに入った気分を味わっていました。数日後には水色のスズランテープを用意すると「シャワーだ」と言いながら教師の頭の上でシャカシャカと振ったり、友達と振り合って水の掛け合いを想像しながら楽しんでいました。

水の心地よさを感じながら、楽しくプール遊びが行えるよう援助しています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『自立心』『協同性』『言葉による伝え合い』『豊かな感性と表現』につながる姿が見られます。



造形あそび

年少組の子供たちは、つくることが大好きです。絵の具遊びでは画用紙にタンポでポンポンと色付けした後、その画用紙を教師が星形に切り子供たちに配ると、嬉しそうにして七夕の笹に飾っていました。

素材を使った遊びでは、蓋のある容器に花紙を詰めて食べものづくりをしていました。また教師が「くしゃくしゃにした紙とカストローをいれてごらん」と伝えてマラカスづくりをすると気に入ったようで最後には「これ自分のものにする」と言ってロッカーにしまっていました。

別日には一人の子供が空き箱でつくった亀を見て「ぼくもつくりたい」「あれほしい」と他の子供も興味をもち、自分たちでどの素材を使うかを決めてつくっていました。つくっているときはとても真剣な様子で「目はどうしよう」「足もつくらなきゃ」と自分たちでどうするのか考えたり、友達のものを見て足りないものに気づいたり、友達と同じ遊びをすることを楽しんでます。

子供たちの豊かな発想力が広がるようにイメージを大切にしながら、表現することを楽しめるように援助していきたいと思います。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『社会生活との関わり』『思考力の芽生え』『言葉による伝え合い』『豊かな感性と表現』につながる姿が見られます。